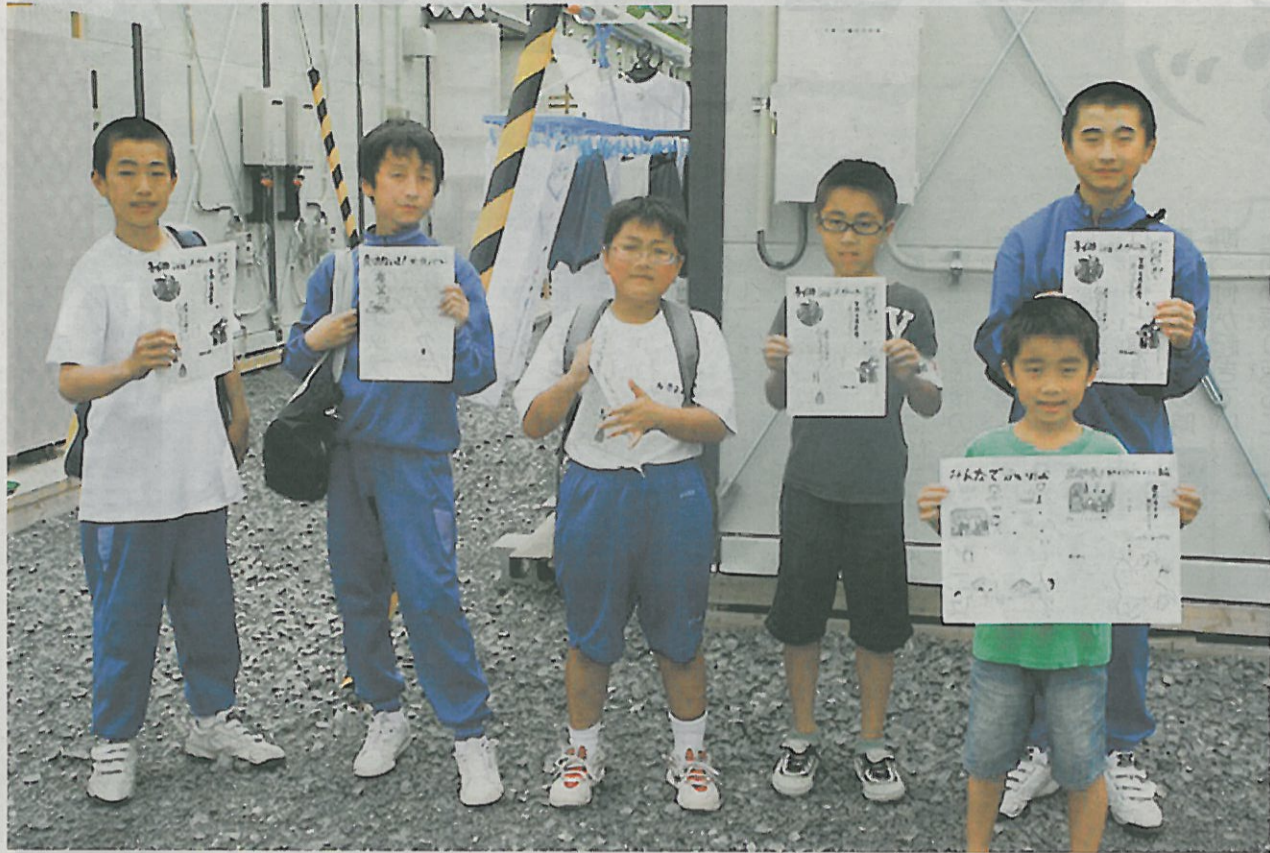


小学生新聞

～別刷り特集～

完成した新聞を手にこれから仮設を回る野田村こども新聞社と境野小の松平君兄弟



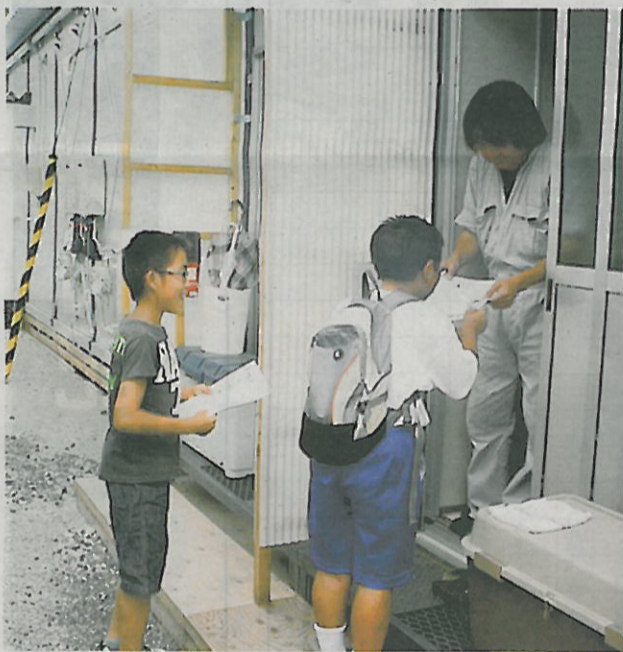
東日本大震災で津波被害にあった岩手県の「野田村こども新聞社」と、群馬県桐生市の境野小学校が協力して作った新聞が完成。野田村の子もたちが7月2日、地元の仮設住宅のお年寄りたちに「配達」しました。新聞は第2弾も現在製作中で、被災地と境野小の新聞交流が続いています。

【上東麻子】

野田村こども新聞社は、子ども目線から地域の復興を伝えようと、村で活動する関東のボランティアグループ「チームもたち」(登内義也代表)の呼びかけで5月にスタート。野田村の小中学生15人が参加しています。村の菓子店再開取材した記事や写真を、新聞作りで実績のある境野小学校新聞委員会が編集しました。

野田村こども新聞社
境野小新聞委員会

コラボ新聞が完成



一軒一軒、仮設住宅に新聞を配る野田村と境野小の子どもたち=写真はいずれも7月2日、松平博政さん提供

新聞はB4判4ページ。1面は「笑顔もお店も戻ってきたよ」の見出しで、被災した和菓子店の復興の様子を伝えています。2面では「広がれ新聞作りの輪」と題して新聞作りや取材の仕方、今月初めに届けられ、野田村の子どもたちは「すごい」と驚いたそうです。

復興のようす伝えたい

参加し、野田中学校の仮設住宅(128戸)に配りました。一軒一軒訪ね、元気な声で「群馬と野田の子で作った新聞です。見てください」と手渡しました。お年寄りたちは喜んで、家でお茶やコーラをごちそうしてくれる人もいました。

仮設住宅に配達
新聞配りには境野小の児童も

「笑顔もお店も戻ってきたよ」の見出しで、被災した和菓子店の復興の様子を伝えています。2面では「広がれ新聞作りの輪」と題して新聞作りや取材の仕方、今月初めに届けられ、野田村の子どもたちは「すごい」と驚いたそうです。

ボランティアに取材

この日は仮設でボランティアが炊き出しをしていて、こども新聞社の記者たちは早速、取材活動も。鈴木大智君(野田中1

第76回 とっちゃんまん・宮川俊彦 夏の特講

「スーパー作文+読解+視点・観点+思考の方法」作文を手段とした自己表現と思考力育成

今年の夏は特別になりそうだ。節電もいいが人間は元来発電体。スパークしたらいい。春の震災特講できっとボクらは天災にも人災にも放射能にも強い客観化・対象化を手にした。世間の感情化を低く見た。今回は基礎からトコトン天井知らずで。申し込み急げ。楽しく深く。品格を持って。言いたいことを言うのではなく、言うべきことを思索しようぜ。

●作文研本部特講

- 日程 7/20~23、7/25~30、8/23~31
期間中の都合のよい日とクラスを選んでください。
- 受講料 全日程から6クラスで 38,000円 12クラス 70,000円
特講は最低6クラスからの受講です。追加は1クラスにつき6,000円申し受けます。全日程とクラスからチョイスしてください。
- 会場 東京都千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビル内 国語作文教育研究所 地下鉄竹橋駅直結
- 大阪特講(大阪毎日インテシオ) 7/17・18、8/21・22
- 読書読解感想文特講(作文研本部) 8/1・2・3
- 親の特講(作文研本部) 8/4
- 青山子ども城特講(こどもの城) 8/7・14
- 時間: すべて10:00~15:30(昼休み1時間)
- 1日単位 受講料: 1日10,000円(この特講はクラス分けはしません)

Aクラス	10:00~12:00	小学低学年程度
Bクラス	12:30~14:30	小学中高学年程度
Cクラス	14:30~16:30	小学高学年や中学生程度
Dクラス	16:30~18:30	どなたでも学年・年齢不問

本来学年分けなどとした意味はないのが表現教育です。よって高校生がAに来ることも良いことです。

ホームページ <http://www.miyagawa.tv/>

特講の問い合わせ・申し込みなどは全てメールでお寄せください。

E-mail ▶ mygw@miyagawa.tv

(財)国語作文教育研究所

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビル TEL.03-3213-1818 FAX.03-3213-5038

被災地を子ども目線で取材

↓記事や写真を群馬で編集



境野小学校での編集作業。新聞委員のメンバーが念入りに文章を最終チェック。6月16日、上東麻子撮影



特1面からつづく
境野小学校の新聞委員は、6年生の18人。徳田貢一先生の指導の下、休み時間や放課後を利用して週1回「大いちょう」を発行しています。全国小・中

ただ今、第2弾を作成中!



境野小新聞委員会が編集した「大いちょう」の一部

が中心になって
レイアウトを考
え、岩手県を走
る銀河鉄道のイ
ラストを入れる

小のPTAだったことが縁で、
新聞作りに協力することになり
ました。6年生
が中心になって
レイアウトを考
え、岩手県を走
る銀河鉄道のイ
ラストを入れる

など工夫しました。
6年生の茂木紅蓮さんは「野
田村の子たちと一緒に新聞作り
ができてうれしい。被災地の人
も読んでくれるので、張り切り
ました」。イラストを担当した
島尻藍香さんは「みんなが元気
が出るようにと、力強い絵にし
ました」と話しました。
仮設住宅で野田村子ども新聞
社の子もたちが取材したメモ
や写真を元に、現在コラボレ
ション新聞の第2弾を作成中
です。今月中には完成して、再び
野田村に届けられる予定です。

チームもたちは、岩手県の北三陸(久慈市、野田村、普
代村)の特産品ギフトセットを企画。岩手産ひとめほれ無
洗米と天然水のセット▽山ぶどうジュース▽野田村の塩あ
めなど被災地の特産品を、支援金500円を上乗せして販
売しています。支援金は、現地のボランティア活動資金と
して寄付されます。問い合わせは <http://urikaka.com/>

ミュージック&リズム TOKYO KIDS 2011 音楽体験ワークショップ 参加者の申込みが始まりました!

参加出演者大募集!

- 募集人数 小学生~中学生 480名
- 参加費 3,000円(ステップ1・2・3通して)
- しめぎり 2011年8月22日(月)
- 開催期間 2011年9月3日(土)→10月23日(日)
- 会場 ワークショップ: 高尾の森わくわくビレッジ、台場区民センター
コンサート: 東京都庁前 都民広場

■くわいご案内先&お申込み
ミュージック&リズム TOKYO KIDS 実行委員会事務局
TEL: 03-3353-9927 FAX: 03-3353-9936

公式サイト <http://www.station.li/music/>
携帯サイト <http://bh-project.jp/mobile/>
ミュージック&リズム TOKYO KIDS

携帯サイト QR コードはこちら

楽器を作って、 みんなでコンサート!

ステップ1 自然にふれよう! 楽器をつくろう!

ステップ2 合奏しよう!

ステップ3 みんなで演奏会! (リハーサル&コンサート)

※ステップ1~3すべてに参加していただきます。全日雨天決行
※保護者の方はワークショップでのお子様のお手伝い大歓迎です。見学、送迎のみでもOKです! ふるってお申し込みください!



●主催: 東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人 東京都歴史文化財団)、ミュージック&リズム TOKYO KIDS 実行委員会
●特別共催: 公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団(Kissポート財団) ●後援: 八王子市教育委員会、港区教育委員会、NPO法人 東京都子ども会連合会 ●協力: 高尾の森わくわくビレッジ
●ゲスト: 鬼太鼓座(和太鼓)、越智ブラザーズ(パーカッション)、おたか静流(シンガー&ボイス・アーティスト)、梅津和時・多田葉子(サクソフ、クラリネット)、ワゴン・ンジャエ・ローズ(アフリカンパーカッション)、ほか多数!